

～授業の流れと生徒作品～

2学年 「人物を描こう」

小松市立松東中学校

スケッチ

描くことの抵抗を少なくする

描く楽しさを味わわせる

第1学年

- ・ 自然や身近なものを観察し、形や色彩の特徴や美しさなどをとらえスケッチすること。

第2学年及び第3学年

- ・ 対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、世界をスケッチに

対象の奥まで読み取る態度

内面的な部分を表現する

第2学年 「人物を描こう」

- 人物クロッキー

基礎的技能

- 人物画鑑賞

感じ取る力を育てる鑑賞

- ポーズをとる友達を描こう

内面的な部分を表現する

人物クロッキーを始める前の つぶやき

人間にならないから
いや

似たのに描けないから
いや

小学校4年生に1回
自分の顔を描いた

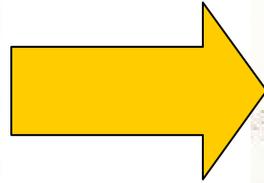
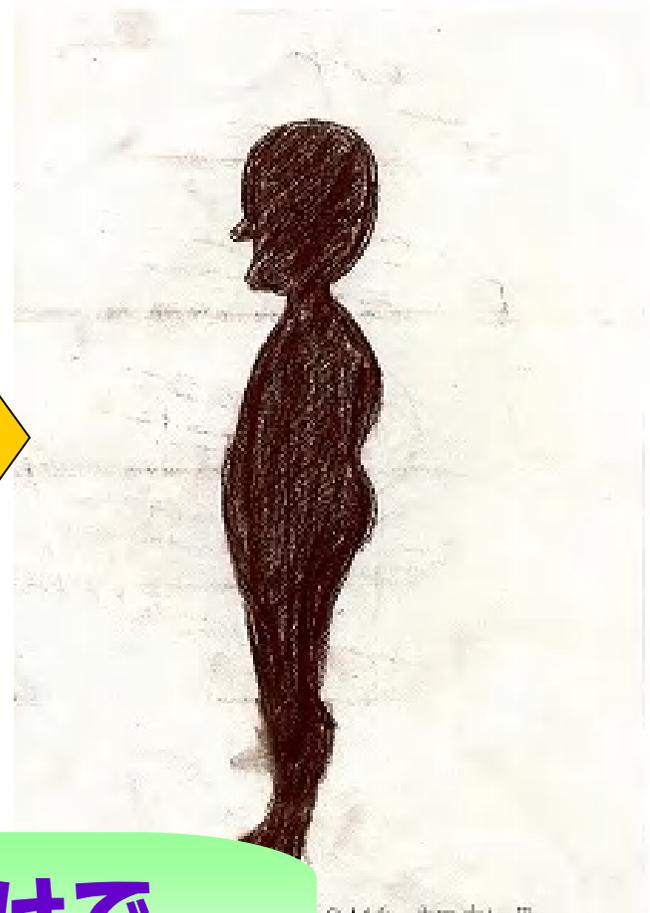
アニメのキャラなら
かっこいいの描いて
みたい



NO. 1

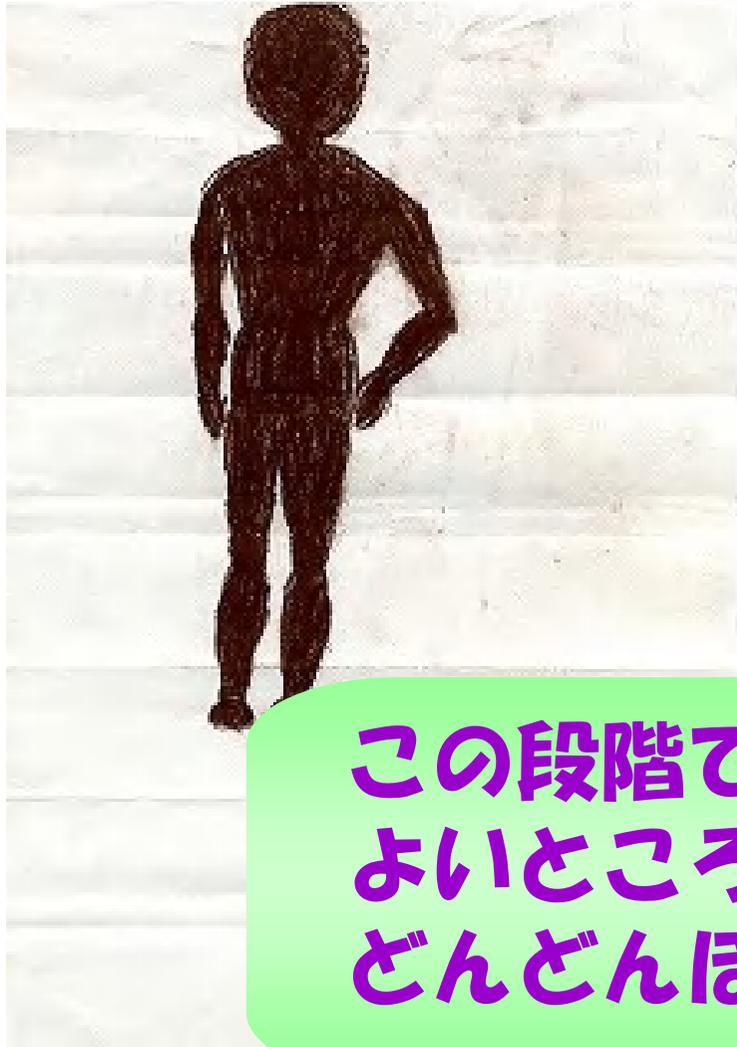


NO. 2



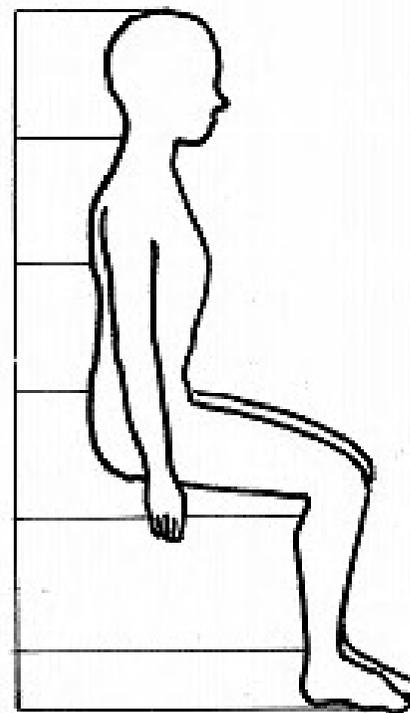
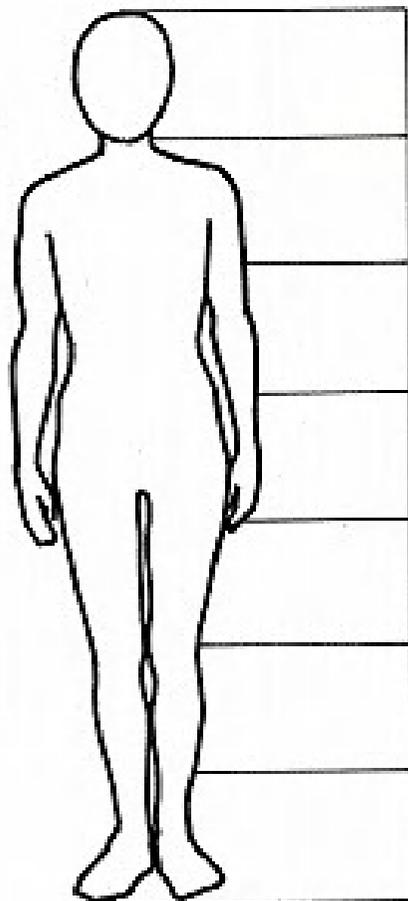
体の流れを知っただけで
すごく上達すると実感させる

正面向きの人間を描いてみよう

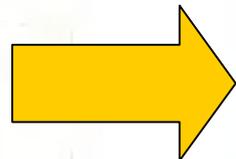


この段階では
よいところを見つけ
どんどんほめる

お助けシート



お助けシート効果



くさくさ感
前書いた時 7/24か

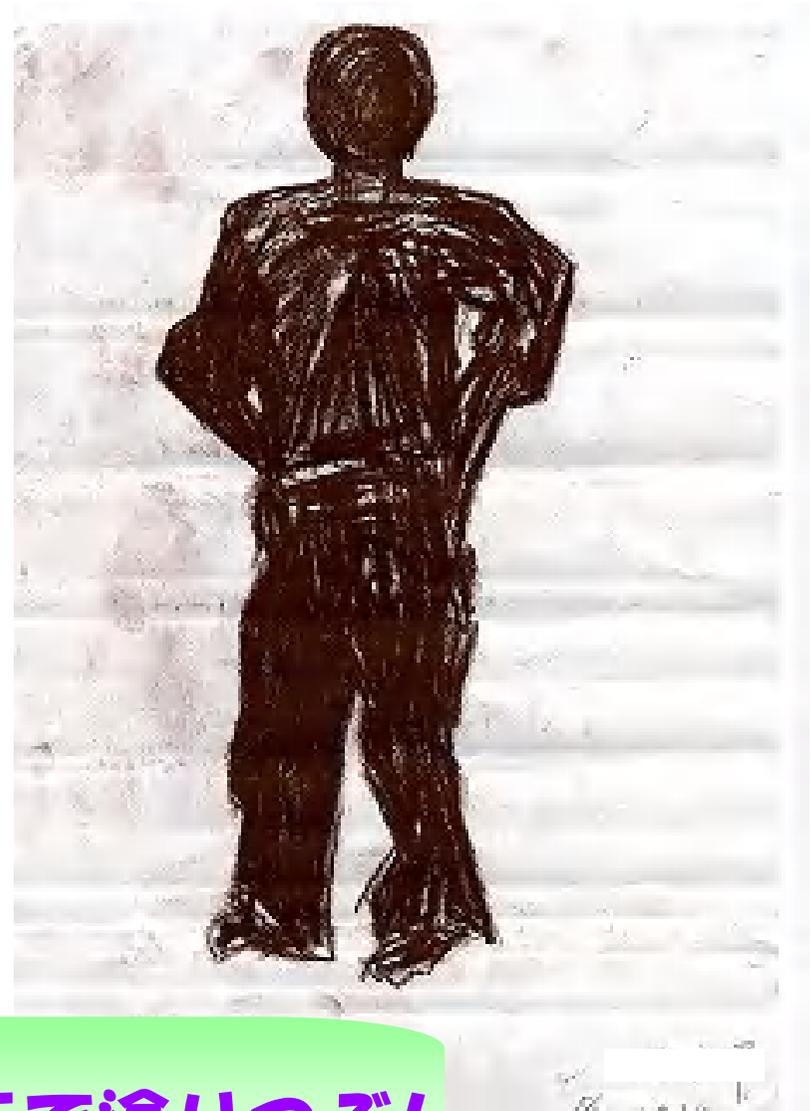
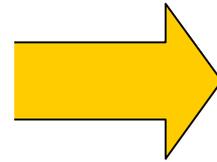
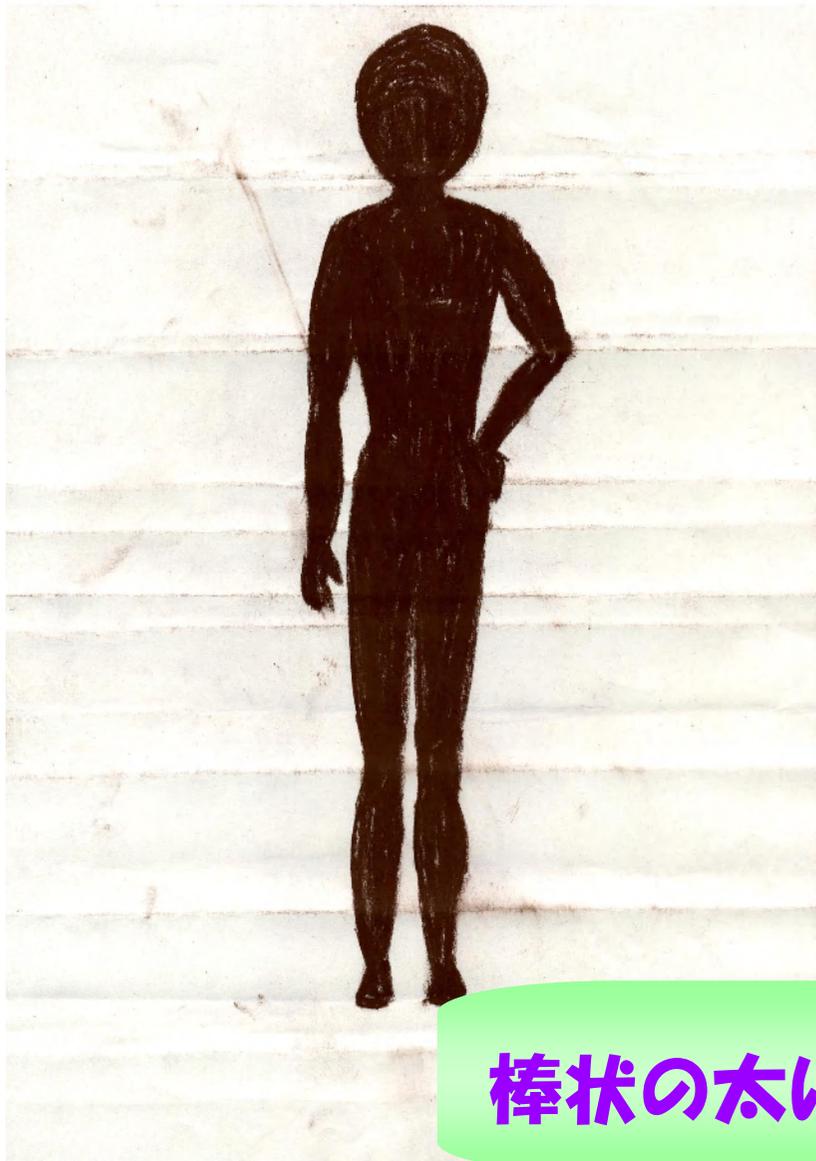
5/24
◎おまじい時は
着中が気になっている
ことが多かった。
そして、おまじい時
までで逃げているから
くさくさ感はない
ワタシは思ってる。

**満足感を大切にしてそのときの
気持ちを書き残す**

人物クロッキー授業風景

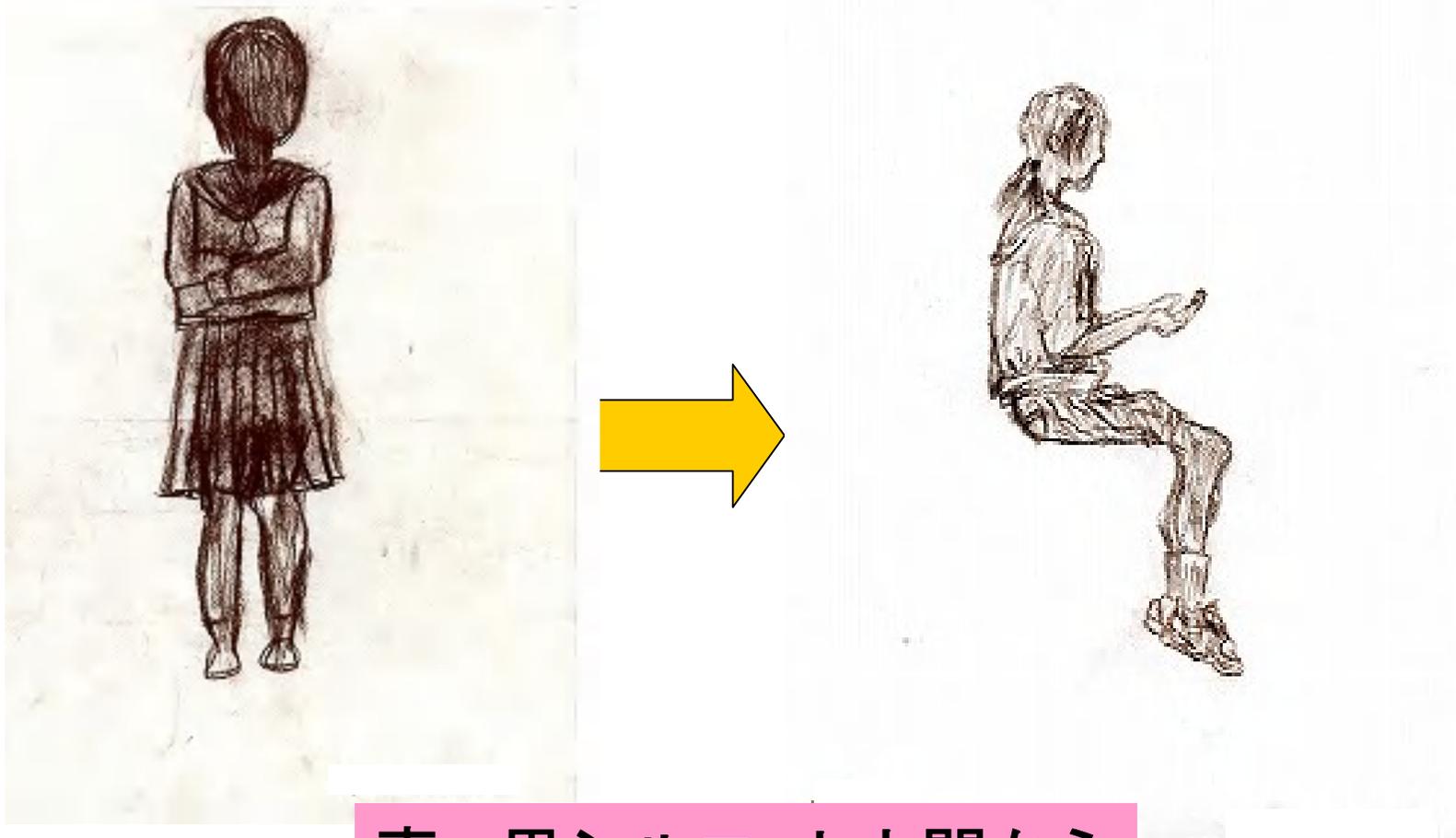


クロッキーの流れ



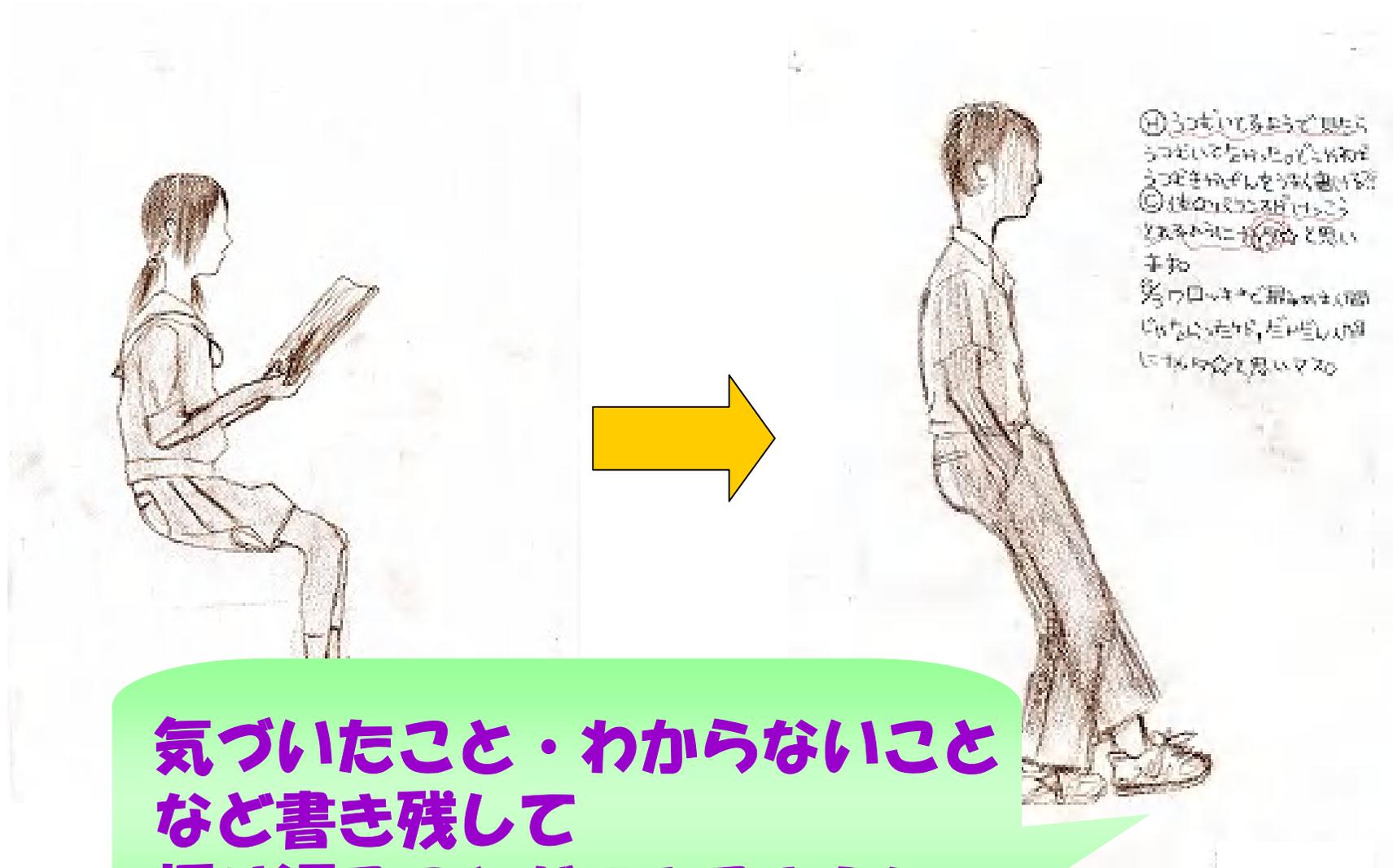
棒状の太いコンテで塗りつぶし

クロッキーの流れ



真っ黒シルエット人間から
輪郭の線をとる段階へ

クロッキーの流れ



気づいたこと・わからないこと
など書き残して
振り返ることができるように

正確に形を写すだけではない！ ．．．．人物画には何かある



宮本三郎 人物画

「舞妓」鑑賞



「舞妓」油彩画 小松市立宮本三郎美術館蔵



「お便り」木版画 小松市松崎町蔵

※小松市立宮本三郎美術館発行「館蔵品作品集Ⅰ」より転載

宮本三郎美術館

アートデリバリー



ねらいを明確にして
美術館の方と
綿密に打ち合わせ

あとは
美術館の方に
専門的なことは
質問したり
資料を借りたり
大助かり・・・

鑑賞

- 表現の能力を高める鑑賞
- 感じ取る力を育てる鑑賞
- 作品や作家、文化の理解のための鑑賞

宮本三郎 人物画 鑑賞授業



鑑賞お助けシート



★この人に声をかけてみよう

こっち見てください

何をしているんですか

きれいな着物ですね

「舞妓」 油彩画 小松市立宮本三郎美術館蔵 「館蔵品作品集Ⅰ」より転載

ポーズをとる友達

2年 ポーズをとる友達を描く
○ 友達を見た第一印象は？(モデル _____)
いつも笑顔で明るい。
○ ねらい(どんな感じにしたいか)を考えよう
部活が終って、さあやかな汗を
ふいている感じ。
○ ねらいのために工夫したいこと
笑顔でタオルを持ち、汗をふく。
○ 必要な用具 タオル
2年 _____

2年 ポーズをとる友達を描く
○ 友達を見た第一印象は？(モデル _____)
笑顔がかわいくて、明るくて元気な女の子!!
○ ねらい(どんな感じにしたいか)を考えよう
バレーが大好きで、「今から部活やるぞ」
みたいな感じ。
○ ねらいのために工夫したいこと
ボールをもたせる。笑顔で ^か 歩こうとしてるようす。
○ 必要な用具 ボール, 体育着で
2年 _____

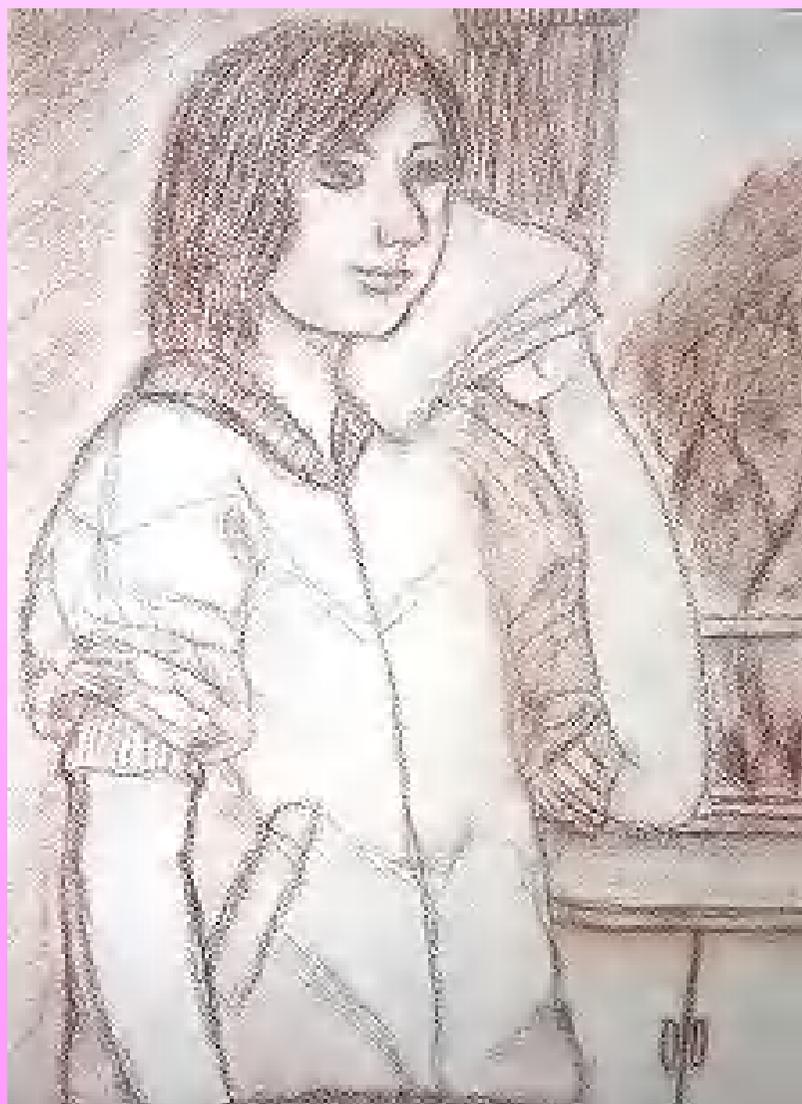
ポーズをとる友達



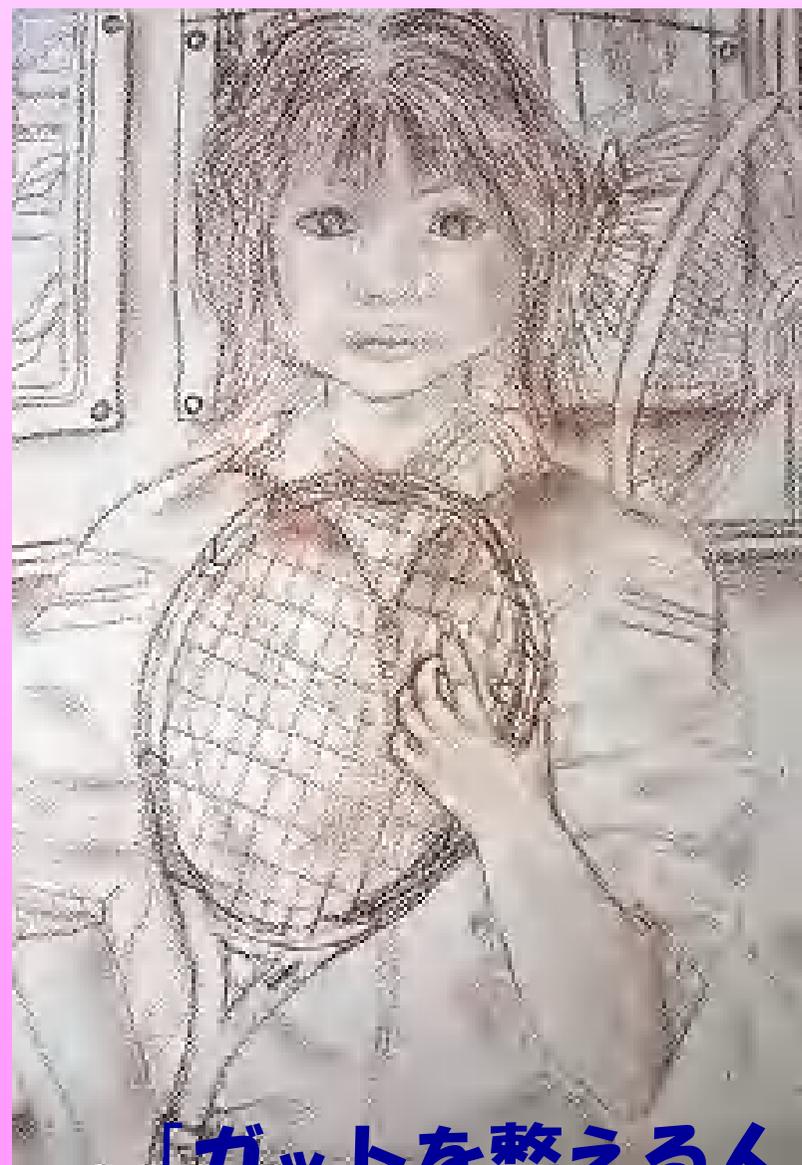
「勉強」



「楽器を吹く人」



「さわやかな汗をふく人」



「ガットを整える人」



「智子いろいろ」



「テニス部の人」



「ラケットを取り出す利紗」



「輝け！この瞬間・・・」

学習指導と評価の工夫

美術への関心・意欲・態度

- ・クロッキーの紙をつづる
- ・お助けシートの活用
- ・本物を見せる

発想や構想の能力

- ・自分達でポーズを考える
- ・気づいたことを書き残す
- ・個人の課題を意識させる

学習指導と評価の工夫

創造的な技能

- ・太い棒状のコンテと鉛筆型コンテを用意する
- ・作者の想いやモデルの雰囲気などに気づかせる
タイミングをみる
- ・鉛筆スケッチなどの今までの技能を生かす

鑑賞の能力

- ・黒板に全員の作品を掲示する
- ・授業をビデオに撮る
- ・生徒の意識を高め、美術館に行く

評価の工夫改善の取り組み

1年の鉛筆デッサンの生徒作品を市内の美術の先生方と下記評価規準で評価してみて、客観性を考える。

創造的な技能

- A・・・形の特徴をとらえており、材質感や立体感を考え、自分なりに鉛筆の表現を工夫して描いている
- B・・・形の特徴をとらえ、材質感や立体感を意識して描いている
- C・・・形をよく見ていないうえに、平面的な表現になっている

今後の評価への課題

1. 評価規準の言葉を皆で練る
2. 授業を参観して、4観点の1つでも皆で評価してみる
3. 何人かで同じ題材に取り組み、それぞれ評価を出し合う
4. 各学校の指導案や評価資料を共有して使ってみる

終わりに

**教員同士のチームワークと研鑽に
前向きに取り組む姿勢が大切**

